

## 日ごろの備えはできていますか

～平成17年度登別市総合防災訓練～

9月30日(金)、北海道曹達(株)幌別工場の敷地で、市や室蘭警察署、登別厚生年金病院、町内会など27機関約420人が参加して、『平成17年度登別市総合防災訓練』(登別市防災会議主催)が行われました。

この総合防災訓練は、防災関係機関と地域住民が一体となり、災害発生時に市民の生命・財産を守るため、適切で迅速な行動を身につけるとともに、防災意識の高揚を図ることを目的に、2年に1回行われているものです。

訓練は、『大雨と洪水による被害の発生』と『震度6弱の地震と津波による被害の発生』を想定して行われ、避難誘導や炊き出し、配水管復旧、火災消火など27項目の訓練を実施。参加者は、本番さながらの真剣な表情で訓練に取り組み、改めて防災の大切さを認識していました。



配水管復旧訓練



仮橋設置訓練  
(陸上自衛隊)

## 自分色に輝ける社会の第一歩

～登別市男女共同参画講演会～

10月8日(土)、市民会館で『登別市男女共同参画講演会』が開かれました。

この講演会は、男女の固定的な意識にとらわれず、自分らしい生き方を考えてもらおうと毎年開催されているもので、約500人が参加しました。

今年は、テレビや雑誌などで幅広く活躍する、作家の落合恵子さんが、『いま、共生の時～女と男が共に生きる社会～』と題して講演しました。

落合さんは「人間を性差で権利や責任を変えないなど、自分色に輝くことができる社会の第一歩が男女共同参画社会。その基本は人権で、周囲が決めるものではない」と語り、その上で「男女とも社会で共に生きていく姿が男女共同参画社会。女だけが得する、男だけが得するということはない。一人ひとりが意識を問いただすことで今後が見えてくる」と述べ、来場者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



## 木の魅力を再発見

～わくわく木育ランドinのぼりべつ“ふおれすと鉾山”～

10月14日(金)から16日(日)までの3日間、ふおれすと鉾山で『わくわく木育ランドinのぼりべつ“ふおれすと鉾山”』(北海道主催)が開かれました。

この催しは、子どもをはじめとするすべての人びとに、木とのふれあいや学びなどを通して、人と、木や森のかかわりを考えてもらおうと、本年度は、登別市のほか、札幌市や北見市など道内6カ所で行われているものです。

会場では、NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ代表理事の長谷川敦子さんの『木のおもちゃと“あそび”の楽しい関係』と題した講演会や、木の砂場、木のメリーゴーラウンド、滑り台、木馬など木の遊具が並ぶ『木の遊園地』などが設けられ、参加者は、世代を問わず、木の魅力を感じ取っていました。

